

令和2年度 第9回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年11月5日（木） 13時00分から15時35分まで

開催場所：A203・204 会議室

出席者：佐藤市長、木下副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、星野産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、田中危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

年度途中の市長交代ということで、継続していくべきものもたくさんあるが、選挙期間中に市民の皆さんと約束してきたものをどのように取り入れていくか一緒に考えていただきたい。

市長就任の訓示でも申し上げたが、いいだ未来デザイン2028で目指している方向性と選挙期間中に訴えてきたことの方向性に大きな違いはないので、職員の皆さんには安心して、自信をもって業務に取り組んでいただきたい。一方で、市民の皆さんとの対話の中で、いくつか新たな取組も約束してきているので、その部分にも配慮していただき、市民の皆さんに市長が代わったということを実感していただけるように取組を進めていただきたい。

わたし自身も職員の皆さんや市民の皆さんが不安になるような物事をひっくり返すということではなく、いい意味での新しい飯田市づくりに一緒に取り組んでいきたいと考えている。よろしくお願いします。

<副市長>

令和3年度当初予算編成やいいだ未来デザイン2028の中期の基本目標について、厳しい日程であるが、しっかり協議をお願いしたい。また、令和2年第4回定例会についても今月下旬に開会するので、準備等をよろしくお願いします。

10月に入って、公用車の事故が多数発生している。公用車に限らず車の運転には細心の注意を払っていただくよう改めてお願いしたい。

<教育長>

市長の訓示の中にあつた、職員に対する厳しい声が非常にたくさんあるということをしかりと受け止める必要があると感じている。

わたし自身も市役所に入って、職員の言葉遣いについては気になるところがある。馴れ馴れしさとしかりした対応は違うので、はき違えないようにする必要があると思う。また、スピード感についても民間企業と大きな差があると感じている。

職員一人ひとりが市民の皆さんへの対応を改めて見直して、市役所がステージをもう一段上がれるように各部局で考えていただくようお願いしたい。

2 協議事項

(1) 議会のペーパーレス化について（議会事務局）

◇趣 旨：議会のペーパーレス化について関係部署と検討してきた現段階の内容を共有するとともに各部局からの意見を聴取する。

◇論点・課題

- ・ICTシステムの活用により、議会機能の強化を進めるとともに、市・議会・市民の情報共有を円滑にすることを目的として実施する。
- ・併せて電子ファイルを用いることで、資料作成等に要する経費の削減と事務の効率化を図る。
- ・令和3年第1回定例会及び令和3年第1回臨時会（5月開催予定）を試行期間として、紙文書と電子ファイルを併用し、試行期間の中で特段の問題がない場合には、令和3年第2回定例会から本格運用するよう進めていく。

◇主な意見等

(市民協働環境部長) この取組は環境への配慮という視点からも重要だと考えられるので、目的に環境への配慮についての記載をするべきだと思う。

(総務部長) 第1回定例会については予算書等配付物が多いが、事務の進め方等しっかりと協議がされているか。

(議会事務局長) 関係部署との協議では、実施時期や内容を考慮する中で実施可能と判断している。

(総合政策部長) 試行期間の中で課題等を整理し、本格運用に向けて進めていければと思う。

◇協議結果

部長会了承

(2) 令和3年度当初予算編成について(総務部)

◇趣旨: 経済状況と国の動向及び飯田市の財政状況を共有するとともに令和3年度当初予算編成の基本的な考え方について協議する。

◇論点・課題

- ・令和3年度は、いいだ未来デザイン2028中期4年間の初年度となり、11月下旬に市長から示される当初予算編成方針に基づいて予算編成を進めていく。
- ・令和3年度は例年以上に厳しい予算編成となるため、事業実施の必要性や方法等を十分に精査し、部局ごとに優先順位を明確にしたうえで要求していただきたい。

◇主な意見等

(教育次長) 各部局の戦略部分を含めて上限額に収めるという認識か。

(財政課副参事) 戦略や重点事業については、部局別要求上限額に収めていただくという前提であるが、市長のマニフェストを実現するという視点も合わせて判断させていただく。

(健康福祉部長) 上限額を超えてもその戦略をやるという考えはないということか。

(財政課副参事) 予算の査定を進める中で、上限額を超える場合もあると思うが、現時点で歳入見込と歳出概要の差額が大きい状況はご理解いただきたい。

(総務部長) 経常的なものを先に進めつつ、政策的なものについては予算編成方針も踏まえ、軌道修正できる部分は考えていきたい。

(市長) 財政課の考えもわかるが、政策的な部分を部局ごとに上限を設けるのは無理があると思う。一律に上限を設けるのではなく、部局別に相談をしないと難しいのではないか。財政課には個別の事情をしっかりと聞いていただきたい。

(財政課副参事) 特に戦略や重点事業については、それぞれの部局と相談をさせていただくよう考えたい。

◇協議結果

部長会了承

(3) いいだ未来デザイン2028中期計画基本目標案について(総合政策部)

◇趣旨: 議会からの提言やいいだ未来デザイン会議の意見等を踏まえ、各マネジメントリーダーを中心にまとめた中期計画の基本目標案について協議する。

◇論点・課題

- ・基本目標ごとに前期計画を振り返り、議会からの提言やいいだ未来デザイン会議の意見等も踏まえ、中期計画の基本目標と戦略(考え方)をまとめた。
- ・本日の資料を素案として検討を進め、後日改めて部長級協議を設けさせていただくので、その際によりしっかりとご意見をいただきたい。

◇主な意見等

(教育次長) 現段階では、基本目標と戦略を作成している状況であるが、これから予算編成や市民の皆さんからご意見をいただくにあたっては、KPIも示さないと具体的にイメージがわからないのではないか。

(市立病院事務局長) 4年間を見据える中では、新型コロナウイルス感染症とデジタル化(DX)について記載するべきではないか。

(総合政策部長) ご意見を参考に、これから全体を見ていく中で検討を進めていきたい。後日行う部長級協

議でもしっかりと議論をさせていただきたい。

◇協議結果

後日改めて協議の場を設定する。

(4) 次期飯田市一般廃棄物処理基本計画について（市民協働環境部）

◇趣 旨：飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画案について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に規定する一般廃棄物処理計画として策定し、対象期間は2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの4年間として、いいだ未来デザイン2028の中期計画の期間と合わせて策定する。
- ・具体的には、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進やごみの適正処理の推進にさらに力を入れ、ごみの排出量を抑制するよう取り組んでいく。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(5) 飯田市多文化共生社会推進計画第2次改定版（案）について（市民協働環境部）

◇趣 旨：飯田市多文化共生社会推進計画の前回の改定計画の計画期間終了に伴い、第2次改定版の案について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画の対象期間は2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの4年間として、いいだ未来デザイン2028の中期計画の期間と合わせて策定する。
- ・基本理念やめざす地域像は前計画を継承するが、重点戦略として「多様な価値観を認め合うを通じた外国人住民との多文化共生の意識の向上～内なる国際化の推進～」を掲げ、わたしたちの意識を変えていくことを重点的に取り組んでいく。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(6) 第2期飯田市地域福祉計画・飯田市地域福祉活動計画について（健康福祉部）

◇趣 旨：平成29年度に策定した飯田市地域福祉計画・地域福祉活動計画が今年度で計画期間を終了するため、第2期計画について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画の対象期間は2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの4年間として、いいだ未来デザイン2028の中期計画の期間と合わせて策定する。
- ・地域福祉推進のための仕組みづくりとして、市に包括的な相談窓口を設置し、各相談支援窓口との連携強化を図るとともに「地域福祉課題検討会」を高齢者の課題解決等を目的とした「地域ケア会議」も兼ねて進めていく。

◇主な意見等

（市民協働環境部長）飯田市の特徴として、自治振興センターに保健師や公民館主事や厚生担当の職員が配置されているので、その仕組みを活用して、自治振興センター全体でチームを組み、地域の中に入り込んでいくことが重要であると思う。

◇協議結果

部長会了承

(7) 第6期飯田市障がい福祉計画・第2期飯田市障がい児福祉計画について（健康福祉部）

◇趣 旨：第6期飯田市障がい福祉計画・第2期飯田市障がい児福祉計画について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画は、障害者総合支援法第88条第1項及び児童福祉法第33条の20の規定に基づいて策定する法定計画で、計画期間は2021（令和3）年度から2023（令和5）年度までの3年間とする。
- ・この計画は、「地域生活を支えるサービス支援体制の整備」「障がい児・者の人権尊重と社会参加の推進」「安心して暮らせる地域づくり」「関係機関と連携した支援体制の充実」という基本的な考え方に即して策定する。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(8) 飯田市下水道ビジョン（飯田市下水道事業経営戦略）について（上下水道局）

◇趣 旨：平成26年度に策定した「飯田市下水道事業経営計画」及び平成28年度に策定した「飯田市下水道事業経営戦略」が最終年度にあたるため、これらを統合した「飯田市下水道ビジョン（飯田市下水道事業経営戦略）」について協議する。

◇論点・課題

- ・本ビジョンは、国土交通省の「新下水道ビジョン」、長野県の「水循環・資源循環のみち2015構想」及び飯田市の「いいだ未来デザイン2028」の考え方につながるものであり、計画期間は令和3年度から令和14年度までの12年間とする。
- ・経営理念に「安全・安心で「暮らし豊かなまち」づくりを支える下水道」を掲げ、3つの運営方針のもと具体的施策を展開する。
- ・飯田市下水道事業ストックマネジメント計画は、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的として策定する。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(9) 飯田市第12次消防力（消防団）整備計画について（危機管理室）

◇趣 旨：飯田市第12次消防力（消防団）整備計画について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画は、消防団を中核とした地域防災力の充実・強化を図り、飯田市及び周辺地域の安全・安心のまちづくりに寄与することを目的として策定し、計画期間は令和3年度からの5カ年とする。
- ・本計画では、実態に即した組織編成を行う中で、団員定数を1,345名から140名の減とし、1,205名へ変更する。

◇主な意見等

（教育次長）団員の確保に苦勞している状況であると思うが、団員の定数をただ引き下げということではなく、定年の引き上げやOB団員の検討などどのように協議されたのか。

（危機管理室次長）団員の確保については、消防団全体として課題と認識している。消防団の中でも検討する中で、強い思いで人数を確保するよう共有したところである。

（危機管理室長）消防団を辞めた方の中で支援団員として協力いただいている方もおり、組織体制については引き続き協議していきたい。

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

(1) 飯田市議会第4回定例会の議案について（総務部）

◇趣 旨：令和2年飯田市議会第4回定例会に提出する予定の議案、報告案件2件、人事案件2件、条例案件6件、一般案件10件、予算案件8件、計28件について報告する。

◇主な意見等

特になし

(2) 令和2年度一般会計補正予算（第9号・第10号）案について（総務部）

◇趣 旨：令和2年飯田市議会第4回定例会に提出する飯田市一般会計補正予算（第9号、第10号）案について報告する。

◇主な意見等

特になし

(3) 飯田市議会全員協議会（11/18）における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：11月18日に開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件2件を報告する。

◇主な意見等

特になし

4 閉 会